

第25回全国高等学校少林寺拳法選抜大会実施時における 新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

第25回全国高等学校少林寺拳法選抜大会
実行委員会

標記大会の新型コロナウイルス感染症拡大防止について、以下の通り、基本方針を連絡いたします。参加者は必ず本書を確認のうえ、遵守いただくよう強く要請いたします。

なお、社会状況を観察しつつ、都度、必要な方針・変更等を示しますので、本書に連なる通達については、随時、必ずご確認ください。

※すでに大会実施要項や申し合わせ事項などで告知されている内容であっても、本文書に記載の内容が優先される。

1. 大会会場への入場制限及び競技方法等について

(1) 大会関係者（競技役員・審判員）、選手、各校引率責任者、大会補助員（実行委員会が指名した大会運営に携わる生徒）のみ入場可能とし、原則として無観客で行うものとする。なお、出場選手以外で各学校1名までの同伴生徒（マネージャー等）の入場は認める。

**※ 会場の善通寺市民体育館の観客席数は、約1,500席です。
例年、選手約850名、出場校約180校（＝引率責任者数）、
のべ1000人以上になります。**

⇒よって、感染症対策等を鑑み、各校同伴生徒・引率者は、昨年度と同様に1名とさせていただきます。

※学校方針により、上記原則に基づく対応ができかねる出場校は、2月15日（火）までに、大会事務局まで以下メールにて連絡ください。

(E-Mail:shinko-fukyu@shorinjikempo.or.jp)

※引率者…実施要項「13. 引率」に記載されている内容に適合される方。

※学校長から引率の指示があった、学校少林寺拳法部指導者である外部監督やコーチ等についても対応いたします。

(2) 日程について

■ 3月25日（金）

- 感染拡大防止の観点から**公開練習は行わない。**
- 開会式や各種会議を実施する（時間は調整中）。
- 引率責任者会議は、**大会1～2週間前に事前オンライン会議を行う。**
（平日の16時～を予定している。別日に2回実施予定）
当日の会議は、出場校受付と短時間で行うものとする。
都道府県代表者会議は対面型で実施予定。
- 審判員対象の審査講習会は、**インターハイ予選競技Ⅱに関する連絡と審査講習も実施しますので、公認審判員の皆様はご参加ください。**

■ 3月26日（土）

- 予選通過者の発表は、19時頃に全国高体連少林寺拳法専門部HPにて行う予定。

■ 3月27日（日）

- 決勝に進出できなかった選手については、2階観客席での観覧を認める。
- 例年実施している技術修練は実施しない。
- 閉会式は、本選進出選手のみでの参加とする。

(3) 各種目の予選通過率の適用について

前回大会は2会場での実施のため、種目ごとに予選通過率を算出し、その数値を各会場の出場者・出場組・出場チーム数に当てはめ、その会場での決勝進出数を決定した。

今大会は、例年通り（コロナ禍前）の1会場で実施（予定）するので、競技終了後、大会規定の通り決勝進出者が決定される。

2. マスクの着用や競技参加について

- (1) 大会関係者（競技役員・審判員）、各校引率責任者、同伴生徒は原則として終日マスクを着用する。出場選手は競技の時以外は『**不織布のマスク**』を着用するものとする。（大会開催地や、会場への移動を含む）

(2) 競技中のマスクや競技の流れについて

- ① 招集場所には、マスクを一時保管できるビニール袋等を持参・携行する。

招集場所でのウォーミングアップはマスクを着用して行うこと。演武修練を伴うウォーミングアップを行う場合は、有声の気合は出さない。また、周囲との接触を避けること。

ア、密を避けるため、招集場所でウォーミングアップを行えるのは、直後に競技がある種目に限定する。

イ、招集場所の状況に応じて、演武修練を伴うウォーミングアップは禁止する場合がある。

ウ、館内の移動については極力、室内履きを使用してもらうが、招集場所には素足で集合すること。

- ② 招集場所ではマスクを着用し、出欠点呼を受ける。点呼で名前を呼ばれた際は、返事ではなく手を挙げる。

- ③ その他、会場内での立ち居振る舞いや、移動の際の間隔やアリーナ内での整列間や整列場所など、招集担当役員からの説明・諸連絡（マスク着脱の手順や審判員への儀礼、競技終了後の退場方法など）を受ける。

- ④ マスクを着用したままアリーナ内へ入場する。その際、間隔を保ったまま移動する。

- ⑤ 入場後、正面に礼、審判員に礼（発声しない）を行った後に、審判員・役員の指示で選手待機場所へ移動する。待機中もマスクを着用する。

- ⑥ 順番がきたら、ネクストコーナー（次演武者待機場所）へ移動し、マスクを外してウォーミングアップを行う。その際、手指消毒、膝から下の消毒（主に足底）を行うこと。（実行委員会で用意した消毒薬と紙製タオルを使用。発生したゴミはネクストコーナーに設置されたゴミ箱へ捨てる。）

マスクについては、一時保管用のビニール袋等に入れ、ネクストコーナーの荷物入れに置く。

- ⑦コートでの呼び出し係に名前を呼ばれた際は、返事ではなく手を挙げる。団体演武については、学校名を呼ばれたら代表者1名が手を挙げる。
- ⑧コートに入場し演武を行う。有声の気合を出して演武を行ってよい（予定）。
演武終了後は、コートから速やかに退場し、手指消毒、膝から下の消毒を行い、ネクストコーナーの荷物入れの各自のマスクを着用し、全ての演武が終了するまで待機する。
- ⑨決勝は、全体アナウンスの指示通りアリーナ内から退場する。その際、間隔を保ったまま移動する。ただし、予選は終了したコートから審判員の指示で退場する。
ア、ネクストコーナーの荷物入れは共用となるため、必ずマスクの一時保管用のビニール袋等を各自が用意すること。記名をするなどして、チーム内、選手同士で間違えて着用しない様に注意する。
イ、招集場所では、通例「少林寺拳法競技規則 取扱規則 第3章 第5条 細則 服装規定」や大会申し合わせ事項に記載されている服装規定について、招集担当役員が競技前に事前確認を行っているが、今大会では点呼のみとなる。演武終了後に審判員より服装規定で疑義が発生し、違反が発覚した場合は、大会規則第11条（9）の通り、出場は認めない。⇒受賞対象外となる。

大会規則 抜粋

第11条 服装及び姿勢等

（9）これら服装規定に違反した場合や、一般財団法人少林寺拳法連盟競技規則 細則 服装規定に違反した者の出場は認めない。

ウ、招集場所には、原則として出場選手のみ入場可能とする。（大会運営役員を除く）

（3）声援について

アリーナ内や観客席からの、有声での声援は禁止する。

3. 手洗い・うがいの徹底、宿泊施設や移動について

- （1）競技前後、宿舎内での食事前等、こまめに手洗い・うがいを励行する。
- （2）手指の消毒だけでなく、出場者はこまめに足底の消毒も行うこと。
- （3）主催者で消毒薬などの準備は行うが、大会会場内外で各自が使用できる消毒薬を持参し、各所で使用すること。
- （4）宿泊施設では、行政及び施設の示すガイドラインに基づき、安全管理に努めること。
- （5）大会会場への移動については、周囲との接触を可能な範囲で避けること。（公共交通機関を使用する場合は、混雑する時間帯を避ける、または公共交通機関以外の移動方法の検討等）

4. 関係者の検温及び大会参加前の行動記録と ID カードの発行について

- (1) 大会に来場する大会関係者、出場選手、各校引率責任者、同伴生徒の検温を実施する。大会参加までの2週間の検温記録と当日の検温記録等を健康観察チェックシート【様式1】に記載する。
 - ① **出場校の引率責任者は、健康観察チェックシートの内容を確認し、大会当日に健康観察チェックシート提出用紙【様式2-1】【様式2-2】【様式2-3】を大会実行委員会へ提出する。**
 - ② 引率責任者、出場選手、同伴生徒以外の関係者は、健康観察チェックシートを大会会場に持参し、各部署の責任者の確認を受ける。
 - ③ 健康観察チェックシート【様式1】は、必要に応じて提出してもらう。
- (2) 大会に来場する者は、参加までの2週間の行動について行動記録シート【様式3】に記録をする。大会会場に持参し、必要に応じて提出してもらう。
- (3) **大会に参加する選手、同伴生徒は、参加同意書【様式4】を提出する。** 引率責任者は参加同意書を集約し、大会会場に持参すること。
- (4) 提出された関係文書は、その内容を保健所、医療関係者や開催地行政関係者へ情報を提供する場合もある。
- (5) **大会に来場する大会関係者には、会場内への立ち入りを許可する ID カードを発行する。出場選手、各校引率責任者、同伴生徒の ID カードの送付は現在調整中。**

5. 清掃、消毒（ウイルス除去）、換気について

- (1) 競技場の定期的な清掃を消毒とウイルス除去を目的に実施する。また会場内の施設（廊下、トイレ、ドアノブ、テーブル、イス等）についても定期的に清掃を実施し、消毒する。
- (2) 競技場について
 - ① 演武を行う競技場は、定期的に清掃、消毒を行う。
 - ② 組演武・団体演武は、安全管理から競技用フロアマットを使用する。
 - ③ 単独演武については、安全管理と感染症対策の両面から判断し、競技用フロアマットは使用しない。
 - ④ 主審席、副審席はコートから1mの間隔を空けて、設置する。

6. 密集、密接の回避について

- (1) 観客席並びに選手待機場所において密集・密接にならないよう注意し、必要に応じて大会関係者より指導・助言を行う。また、感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に掲示する。
- (2) プログラムの当日販売をせず、事前申込み制とする。

【特記事項】

大会期間中、参加者に感染を含む関係事実が生じた場合は、実行委員会に報告のうえその判断を仰ぐこと。

◎本文書に関する問い合わせ

(公財) 全国高等学校体育連盟少林寺拳法専門部 事務局長 岡澤 義晃
〒611-0013 京都府宇治市菟道大垣内 33-10 京都翔英高校
TEL : 0774-23-2238 FAX : 0774-23-9088 Mobile : 090-9695-2545
Mail: yoshiaki-okazawa@kyoto-shoei.ac.jp

(一財) 少林寺拳法連盟 振興普及部 谷 聡士・中井 弘佑
〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通 3-1-59
TEL : 0877-33-2020 FAX : 0877-56-6022
Mail: shinko-fukyu@shorinjikempo.or.jp

以上